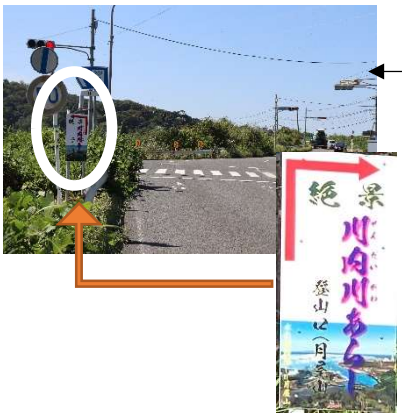
水引地区コミ協便り　第6号

みずひき

令和4年10月4日発行
水引地区コミュニティ協議会
☎&FAX0996-26-3849

月屋山案内看板が四か所に立ちました!!

【川内港入口交叉点】



【アイショップ湯島店先】

わっぜ きれなったがね!!

9月26日は防犯防災交通部会により、湯島町の県道44号線、十文字～上代間他十一個のロードミラー清掃が行われました。防犯防災交通部会員の奮闘努力の賜物で、ピカピカのミラーが蘇りました。部会員の皆様、お疲れ様でした。

防犯防災交通部会のロードミラー清掃

【出発前の打合せ】

【南方神社入口】

文化祭の中止と展示会のお知らせ

今年度の地区文化祭はコロナ禍の折、中止とします。

尚、自主学級と高齢者クラブの合同による展示会を11月3日(木)～9日(水)の期間に水引コミュニティセンター2階で開催します。

花と緑のまちづくり事業

6年ぶりに、花と緑のまちづくり事業による四百本の花苗が水引コミュニティ協議会に配布されました。この花苗は環境部会により各公民館に均等に割り当てられました。花いっぱいの楽しい町が広がりますよう。

花苗を各公民館に均等割りをする
環境部会長・上宇宿さん、
副部会長・染川さん

伝えたい伝統、残したい芸能文化
みなと六尺棒踊り

棒踊りは鹿児島が生んだ独特の芸能で田植え前後の豊作を祈る踊りと伝えられていますが、一説には島津義弘ひきいる薩摩との朝鮮半島と戦いの後、その帰国祝いとして始まったとも言われています。

【中学校グランドに鳴り響く荘厳なる掛け声】

水引地区での棒踊りは、８０年程前は網津三尺棒踊りとして踊られ、鎌倉時代や戦国時代に始まったそうです。各地で戦乱が相次ぎ、農地荒廃、賦役頻繁、自衛のための武器所有も許されずという有様で農民は，棒で護身するしかなかったと言われています

みなと棒踊りは昭和２７年に青年団により踊られたのを最後に長年途絶えていましたが、７０歳代の方々が中心となり５０年ぶりに復活しました。現在は保存会の方々が中心となって継承し、中学生にも伝えて行こうと運動会の演目に組み入れてもらい、伝統を絶やさないような活動を続けております。

虚無の境地に
いざトライ!!

日本伝統の楽器である「尺八」。日本人でも、日頃から日本の伝統音楽に触れる機会は少ないと思いますが、尺八の風音が少し混じった独特な音色は、海外でも人気となっていて、実際に尺八を始める人も増えているようですよ。

尺八といえば虚無僧姿を連想される方も多いでしょう。楠木正勝（くすのきまさかつ）は、その虚無僧の元祖といわれている南北朝時代の武将です。正勝は南朝に尽くした人物で、北朝軍と何度も戦いますが敗北します。戦をする中で、世の中の無常を感じ、自分は死んだと偽って身分を隠し、人生の後半は仏僧として生きた、といわれています。この時に名乗った名前が「虚無」であったとされ、虚無僧という名前はここから来ているとのこと。そして、その虚無が尺八を広めたといわれています。

音色を聞くだけで、和の雰囲気を感じられる日本の尺八。みなさんも一度トライしてみませんか。

自主学級尺八教室

人間として一番大切なこと

幾分過ごし易くなった秋の夜長といえば、やっぱり読書でしょう。スマホで気軽に漫画や小説が読める時代になったとはいえ、ページをめくるわくわく感は廃れない。

そんなあなたにお勧めするのが、鹿児島の偉人、経営の神様、稲盛和夫氏の著書。数ある中から今回は「生き方」

生き方　人間として一番大切なこと
著　者：稲盛　和夫
出 版 社：サンマーク出版

人間の本質とは何か。私たちは何のためにこの世に生まれてきたのか。それは人間が生きている限り、永遠に追究し続ける課題でしょう。

人間としてどう生きるべきか、という大切なことが失われている日本。本書は、われわれが忘れかけていた人間としての心を思い起こさせ、奮い立たせる本でしょう。

京セラやＫＤＤＩを創業し、日本航空（ＪＡＬ）の再建に尽力した京セラ名誉会長の稲盛和夫氏は８月２４日老衰のため、京都市内の自宅で死去されました。９０歳でした。

コミセン窓から

令和２年公布改正道路交通法が今年から施行されることとなり、７５歳以上の運転免許証更新時に、認知機能検査が導入されています。

草道元気会では「認知症予防おしゃべりお茶会」で毎月勉強していきます。年齢に関係なくどなたでも自由に参加できますのでお越しください。

草道元気会　（コミ協和室）
毎月第二月曜日　９時半～

【毎回趣向を凝らした
クイズ形式で楽しく脳トレ】